



椎の木

令和7年度7月号

朝霞市立朝霞第八小学校

〒351-0012 朝霞市栄町5-1-4 1

TEL:048-465-8381

校長 岩崎 英雄

【目指す学校像】教育は子供の未来づくり ～児童に未来を生き抜く力の基礎を育てる学校～

校長先生のお話は…

梅雨入りに加え、急激な気温の上昇もあり、体調管理の難しい6月でしたが、子供たちは、日傘や冷感タオル等で暑さ対策をしながら、元気に登校しています。保護者の皆様におかれましても、2週間にわたって行われた、個人面談に足をお運びいただきまして、ありがとうございました。また、その期間中には校内硬筆展も開催され、集中して取り組んだ子供たちの力作もご覧いただけたと思います。



運動委員によるプール開き

さて、1学期も早いもので、残すところ3週間となりました。そのスタートの日、4月8日の始業式で、私から2つの話をしました。1つ目は、「大きな目標と小さな目標をもちましよう。」です。「大きな目標」とは、今年1年、あるいは1学期はどんなことを頑張るのか、どんなことができるようになりたいのか、等を指します。「小さな目標」とは、大きな目標を達成するために、4月はどんなことを頑張るのか、今週はどんな



環境集会での除草作業

ことを頑張るのか、といった目の前の達成できそうな「目標」のことです。2つ目は、「当たり前前の方が当たり前前ができる」です。学校生活の中で、例えば学習道具や宿題などの忘れ物をしない。廊下や階段は走らない。挨拶や返事をしっかりする。といった内容です。5月の学校朝会では、「心づかいや思いやりを届ける」という話でした。保護者、地域の皆様も東日本大震災のとき、

毎日、繰り返しCMで流れていた言葉を覚えているかと思います。「『こころ』は誰にも見えないけれど、『こころづかい』は見える」「『思い』は見えないけれど、『思いやり』は誰にでも見える。」です。これは、埼玉県出身の詩人、宮沢章二さんの『行為の意味』という詩の一節で、全文を読んで子供たちに紹介しました。いろいろな場面で「こころづかい」や「思いやり」を見せたり、見えたりすることができるといいですね。と話しました。そして、6月の朝会は、「道具を大切に」というテーマでした。ほうきを子供たちに見せながら、ほうきには右側と左側があること、正しい方で持たないと、しっかりとゴミを集められないばかりか、早く傷んでしまうことを説明し、勉強道具や学校にある様々な道具、スポーツや習い事で使う道具など、正しく大切に使うことで、力もつきます。という内容でした。

是非、ご家庭でも「校長先生の話、覚えてる？」なんて聞いてみてください。もちろん、忘れていても大丈夫です。ですが、その時はこのおたよりを使って、おうちの方から「ヒント」を出してもらいながら、少しでも思い出してくれたらいいなと思います。そして、最後に「これはできた?」「これはどうだった?」と振り返っていただき、これからの生活に結び付けていただけると幸いです。



音楽朝会で美しい歌声を響かせてくれた6年生

私も終業式で、この話の振り返りをします。残りの3週間で、あらためてこの話を生かして、生活してほしいと願っています。